

## 2025年度 公立大学法人北九州市立大学特別研究推進費 実績報告書

2026年 4月21日

北九州市立大学長 様

(所属・職名) 地域共生教育センター・准教授  
(氏名) 村江 史年

公立大学法人北九州市立大学特別研究推進費に係る研究実績について、次の通り報告します。

研究課題名	島嶼部から都市部への展開 インドネシア・バンドン市における新たな防災学習プログラムの開発と実践		
交付額	600,000 円		
共同研究者	所属・職名	氏名	役割分担等
	文学部・教授	児玉 弥生	教材開発・学習評価
	国際環境工学部・特別研究員	インドリヤニ・ラフマン (Indriyani Racheman)	教育実践・現地コーディネーター・通訳

### 1. 研究の目的

日本と同様に自然災害による被害が深刻なインドネシアにおいて、これまで島嶼部に焦点を当てて行っていた防災学習プログラムの取組を新たに都心部で展開する。また、これまでは公立小学校と教育委員会と地元の教員養成大学と連携するといった（公立学校モデル）での取組が中心となっていたが、都心部は学校数も多く、公立学校以外にも国立大学附属小学校（ラボ・スクールモデル）、宗教学校（私立学校モデル）での展開も視野に入れて防災学習プログラムを考案・実践する。

### 2. 研究の方法

- ①インドネシア教育大学での教員養成課程の大学生（チビル校・プロアカルタ校）を対象とした防災学習プログラムの授業実践とアンケート実施
- ②インドネシア教育大学の教員養成課程（小学校課程、幼稚園課程）の教員を対象とした防災学習プログラム研修会の開催とアンケート実施
- ③私立学校（宗教学校）での防災学習プログラム研修会の開催とアンケート実施

### 3. 研究成果

防災学習プログラムの取組やアンケート結果を学会にて（9/20 日本環境教育学会九州沖縄支部夏季オンライン大会、2/28 九州レジャー・レクリエーション学会第38回年次大会）発表した。防災学習プログラムの実践について取りまとめ、地域戦略研究所紀要11号に投稿した。